

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

[ 1 ]

成果測定指標	単位	R5年度目標値	R5年度実績値	目標値との差
岸本基金研究助成 広域からの応募（近畿圏以外） （近畿圏以外応募件数 / 総応募件数） ※60.0%以上70.0%以下が適正水準	%	60.0～70.0	59.3	0.7

未達成の要因		要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応		
①	例年、大阪府の割合は15%前後であったが、2023年度は25.2%と大幅に増加した。近畿圏以外からの応募数も増加しているものの、大阪府の大幅増の影響で、結果的に近畿圏の割合が増加し、目標から0.7%未達となった。	大阪大学、大阪公立大学に積極的に広報した結果、大阪大学42件（2022年：13件）、大阪公立大学10件（2022年：0件）と2大学で52件と大幅に増加した。近畿圏からの応募数が、100件（2022年：52件）、近畿圏以外からの応募数146件（2022年：139件）と昨年に比べ増加しているものの、大阪府の増加分の影響が大きかった。					 全国の主要大学に応募要領を送付するなど積極的な周知を図るとともに、研究助成業務支援システムの活用により、全国から応募しやすい体制づくりを行う。		
	関連項目名	岸本基金研究助成 広域からの応募	単位	%	R5当初想定値	60.0～70.0			R5実績値

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

〔2〕

成果測定指標	単位	R5年度目標値	R5年度実績値	目標値との差
千里ライフサイエンスフォーラム 会員参加者比率（各回平均）（会員参加者数 / 会員数）	%	66.7	50.2	△ 16.5

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応	
①	会場参加者が、毎回30名前後とコロナ以前の70名前後から大幅に低下している。 また、オンデマンド配信の視聴も増加していない。 (11月は最も参加者比率が低かった月である)			会員が高齢化（多くの方が70歳以上）しているため、会場参加者が毎回30名前後とコロナ以前の70名前後から大幅に低下している。他のセミナー、新適塾なども会場参加者はコロナ前に戻っていないが、WEB視聴は増加している。しかしながら高齢者の場合、ネット配信の視聴は不慣れなためか、オンデマンド配信の視聴も増加していない。						今後、比較的若い方（60歳以下）の新規会員を増やして、近隣の方（大阪）は会場、遠方はオンデマンド配信を視聴いただくように、会員募集を重点的に実施する。 * 会員以外にも、オンデマンド配信を短期間実施しており、40名前後の方が視聴しているため、こういった方々を継続的に取り込む施策を行っていく。	
	関連項目名	11月参加者比率	単位	%	R5当初想定値	66.7	R5実績値	37.9	差		